

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様



会派名 市民の会

18 番議員 氏名 仙石 三喜 男

質問題名	市長に問う！今後の市政運営について
質問要旨	高木新市政が誕生して既に1年半が経過し、昨年9月議会では副市長及び教育長の新しい3役人事も提案され議会に承認されました。また、12月議会では高木新市政の今後の市政運営の要となる多治見市第8次総合計画が、選挙後の新市議会議員21名の全員一致の賛成で議決されました。 よって、本年4月より「市民が主役！躍動するまち たじみ」を目指す市政運営が本格スタートしました。市長のリーダーシップに期待をし、今後の市政運営について以下の質問をします。
質問項目①	令和6年度の一般会計当初予算は、第8次総合計画に掲げる事業の推進及び市長マニフェストの着実な実行のため、積極的予算の459.6億円の過去最高の予算規模となりました。 そこで、これから計画されます令和7年度の予算編成はどのような方針で臨まれるかお伺いします。 特に市長の重点政策であります「子育て政策」「起業支援及び賑わいの創出」「医療・福祉を守る政策」についてお伺いします。
質問項目②	行政組織の機構改革については、昨年9月議会の市政一般質問の市長答弁では令和6年度に検討し、令和7年度からスタートさせる方針を示されました。そこで、機構改革と人財育成の視点で次の4点お伺いします。 ① 機構改革は、どのような視点で検討を進めてこられたか。 ② 職員の人事異動の基本サイクルは、原則4年ではあるが例外もあると市長答弁されています。改めて基本サイクルを含めた見直しを検討をされたかどうか。 ③ 本年4月より市職員の定年延長により、役職定年職員の皆さんが非管理職という職に就かれました。今後如何に組織に貢献するか期待と命題があるかと捉えますが、非管理職への課題と研修等の実施の有無などについては如何か。 ④ 財源の確保の視点から、市職員の県・国等及び民間への職員派遣による人財育成と情報連携の方針は如何か。

質問項目③	第8次総合計画の人口ビジョンについては、今後人口減少を見据えた計画として立案され、人口減少緩和、少子化対策の取組みを進める計画となっています。 質問は、今後第8次総合計画の短期目標（令和10年まで10万人維持）を維持するため、市長任期一期目となる前期計画4年での特段の政策、方針はどのようなかお聞かせください。併せて、チャイルドペナルティへの対策の推進を提案します。ご検討ください！
質問項目④	市民の皆さんからも課題解決を求められています「高齢者の移動手段確保や交通渋滞問題緩和」の課題についてと、改めて公共施設に係る駐車場問題の次の3点について市の方針をお伺いします。 ① 本庁舎への来庁手段と駐車場の在り方 ② リニューアルされたバロー文化ホールの不足する駐車場対策について ③ 多治見市民病院の第2駐車場拡張提案（3月議会）の進展状況について
質問項目⑤	今後起こり得る災害（南海トラフ地震等）に向け、災害に対するトップとしての対応、姿勢は重要との認識のもと次の3点についてお伺いします。 ① 第1回南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）に関する本市の災害対策本部会議を8月8日の地震直後に開催されました。また、本年1月1日の能登半島地震後の1月15日には、災害時の初期対応を確認する災害対策本部設置訓練をされています。その際、市長より職員への訓示及び徹底された内容はどのようなか。 ② 南海トラフ地震に向けた国（内閣府中央防災会議）の新たな防災対策のポイントでは、行政サービスとしての防災対応の限界を強調し、国民1人1人の「自助」や地域の「共助」を求める方針が示されました。今後、行政職員の人手も益々減少するなか、本市の「地域コミュニティの維持」の取組みについては現状どのようなか。 ③ 最後に、高木市長は市長になられ既に1年半が経過し、この間多くのいろいろな方との対談やご経験をなされたことと認識しています。そこで質問は、平成29年4月に開催されました大規模災害を経験された15市町の首長による「災害時にトップがなすべきこと協働策定会議」の内容より、市を代表するトップとして災害時に向けた【平時の備え】及び【直面する危機対応】への姿勢、行動についてスタンスやお考えをお聞かせください。
質問項目⑥	
質問の相手方	市長、総務部長、企画部長、環境文化部長、市民健康部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・ ）

令和6年8月23日

多治見市議会



会派名 市民ネットワーク

19番議員 氏名 井上あけみ

質問題名	中学生の給食費無償化実施に関わる諸問題について
質問要旨	先日の全員協議会で市内中学生3学年の学校給食の無償化をR8年度から実施するとの説明があった。公立私立を問わず、また中学不登校の子どもたちにも同額に等しい補助を行うというものであった。理由は少子化対策というより義務教育の中で一番お金がかかる時期の子育て支援を行うというもの。確かに中学生は部・ジュニアクラブ活動、進学に向けた塾費用等で、保護者の負担が小学生より大きい。無償化費用は試算では年間1億8000万円とのことだ。 その論理について異議は無く、実現したいとの思いもあるが、問題はこの財源をどう確保するかについて「行革と増収の施策を行う」という具体的な説明が無く、また継続性についての財政指標の推移も示されていないままでは不安が残る。議会の一員の責務として確認の意味で以下質問する。
質問項目①	全員協議会の説明の中で、教育長は経費1億8000万円についての議会審議では当初予算の中に含む形で行うとのことであった。この無償化については8次総合計画策定の特別委員会での説明の際、企画部長は単一の議案として提案したいとの事であった。そもそも、この経費は一過性のものでなく恒久的なものである事を考えれば、特に当初しっかりと説明、質疑を議会で行うべきと考えるがいかがか？
質問項目②	毎年の経費について、行革と収入増の努力で維持していけるとの説明であったが、市民にとって必要な施策は多々ある。新規に必要な事業、助成、また職員の増員が必要な部署もあると認識しており、そのような提案要望を市民や議員が提案した際に、執行部からその是非を検討する前に、お金が無いという回答が返ってくる事がないか？ 経常収支比率が上がれば財政に余裕がなくなる事を心配している。 きちんとした財政予想、計画を示すべきと考えるがいかがか？
質問項目③	
質問の相手方	市長、教育委員会、企画部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6 年 8 月 22 日

多治見市議会 議長 様

- 6. 8. 22

第 号

会派名

公 明 党

8 番議員 氏 名

片山 竜美

質問題名	「子育て・教育No.1 都市」多治見へ
質問要旨	私たち多治見市議会公明党は、本年度子育て・教育面で先行する3つの自治体を視察した。そこで学ぶことは多く、ぜひ多治見市でも取り入れたい施策もあった。 しかし、自治体によって取り巻く環境や優先すべき施策も違い、その施策が多治見市にフィットするとは限らない。当然財政の問題もある。 そこで、私たち公明党が掲げる施策「子育て応援トータルプラン」とも関連付けながら、「子育て教育No.1 都市多治見市」を目指し、ぜひとも行ってほしい施策を予算要望も含め、提案する。
質問項目①	長期欠席者への支援の拡大 ・フリースクール通学者等への補助金の創設はできないか。 ・教育委員会主導で自宅でも学べる「教育メタバース」「オンライン授業」等の導入をして、学校へ来ることができない子どもたちへの支援はできないか。 ・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・トライサポーターの増員はできないか。
質問項目②	多治見市の幼保小中学校における校務支援システムについて ・現状の校務支援システムでどこまでの業務が可能となっているか。 ・それにより教員の働き改革はできているか。現状の成果と課題を伺いたい。
質問項目③	こども誰でも通園制度開始に向けての準備について ・現在の多治見市における準備の進捗状況はどうか。 ・来年度1つの事業所でもいいので、先行導入はできないか。
質問項目④	病児保育の実施について ・多治見市における病児保育の活用状況はどうか。 ・多治見市民病院等地域の医療機関との連携で、誰でも使いやすい病児保育を実施できないか。
質問項目⑤	中学生の学校給食費無償化について ・無償化にする意義や目的は何か。また対象を中学生にした理由も伺いたい。 ・今後も持続可能という財政面の見通しがたったのか。 ・長期欠席児童生徒についてはどのように対応するお考えか。 ・無償化の実施で、教員や食育センター職員の負担軽減になるか。 ・食育の充実のために栄養教諭の増員はできるか。
質問項目⑥	
質問の相手方	教育長 副教育長 福祉部長

市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

令和 6 年 8 月 23 日

多 治 見 市 議 会 議 長 様



会派名 新 生 自 民

1 番議員 氏 名 獅子野 真人

質問題名	多治見市の人口減少対策戦略について
質問要旨	多治見市において人口減少対策は喫緊の課題である。当会派は、人口減少に歯止めをかけるために、6 年連続で人口増加率トップの千葉県流山市や、11 年連続人口増加の兵庫県明石市などを視察させていただいた。今回の会派代表者質問は先進市で学んだ内容を踏まえ、令和 6 年 3 月に策定された第 3 次人口対策中期戦略を基に、市の考えを問う。
質問項目①	第 3 次人口対策中期戦略の内容及び策定経緯はどのようなか。
質問項目②	当市の強みは何か。
質問項目③	強みを最大限に生かせる訴求対象(= 移住者)のペルソナはどのようなか。 (※ペルソナ= 年齢、性別、居住地、職業、家族構成、年収などの人物像)
質問項目④	訴求対象に効果的に訴求するツール・手段はどのようなか。
質問項目⑤	
質問項目⑥	
質問の相手方	企画部長

市政一般質問発言通告書 (会派代表・個人)

令和 6 年 8 月 23 日

多治見市議会 議長 様



会派名 オールたじみ

20 番議員 氏名 石田 浩 司

質問題名	令和 7 年度の予算編成に向けて
質問要旨	来年度予算編成へ向け「オールたじみ」として提案・予算要望と機構改革に向けた市長の意図を聞く。
質問項目①	第 8 次総合計画の子育て政策（給食費無償化・18 歳までの医療費無償化 第 2 子以降の 3 歳未満児保育料無償化）実施内容と早期実施を求める。
質問項目②	来年度行われる機構改革について市長に問う。 ア機構改革の意図イ職員配置ウ職員適正化計画（消防・幼保職）
質問項目③	見直しされた地域公共交通計画と地域移動手段について 見直し後の計画の要点は？移動手段として地域社協等への車貸し出しは？
質問項目④	「市民が主役」の観点から、市民参加をより促進するための施策について 市民参加型合意形成プラット 、フォーム等の検討は？
質問項目⑤	地域要望への予算増額 道路維持・河川管理・公園整備、など地域要望への予算確保
質問項目⑥	
質問の相手方	市長・企画部長・教育委員会・福祉部長・市民健康部長・都市計画部長・建設部長

市政一般質問発言通告書（会派代表）

令和 6年 8月 23日

多治見市議会 議長 様



会派名 自民クラブ

15番議員 氏名 若尾 敏之

質問題名	続・市長に問う
質問要旨	昨年の会派代表質問において質問したもののうち、子育て施策三公約の実現以外の教育、産業（美濃焼）、インフラ整備、地域消防力の強化の4点について、政策の方向性についてその進捗と成果について確認する。 なお、機構改革については来年度から本格的に具体化すると伺っているため今回は言及しないが、自治体DXの在り方について新たに伺う。
質問項目①	＜教育について＞ 多治見で育つ子ども達はどんな大人に育って欲しいと考えるか。
質問項目②	＜美濃焼について＞ 「歴史と伝統のある美濃焼タイルを、やはり国内だけではなく世界へ発信をしていくということが必要」と市長は昨年答弁されているが、具体的な成果はあったか。
質問項目③	＜インフラ整備について＞ 道路網構想は令和7年度に見直すとの答弁があったが、パーソントリップ調査の速報版については昨年の11月に公開されている。これを踏まえ、現時点での所見を伺いたい。
質問項目④	＜地域消防力について＞ 岐阜県消防操法大会の開催日程が本年度から大きく変更となっている。このことから出場分団並びに支援分団の負担の在り方にも変化があると思うが、これについての所見と対応があればお答えいただきたい。
質問項目⑤	＜自治体DXについて＞ 多治見市の進めるDXの在り方と、第8次総合計画の期間内に実現していると想定する具体的な姿（イメージ）はどのようなものか。
質問の相手方	教育長・企画部長・経済部長・都市計画部長・消防長